

株式会社ジェイコムさいたま 所沢局 放送番組審議会 概要

平成 24 年度の放送番組審議会は 2013 年 2 月 22 日(金)に所沢局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席

新井 幸江様 本橋 源一様 鈴木 健様

ご欠席

梅沢 定彦様 高麗 健治様

会長と副会長の選任

事業者からの推薦と委員の互選により、会長に本橋委員、副会長に新井委員が就任した。

事業者側から現況の報告および J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答 意見交換】

(社名について)

委員 JCNとの業務提携が予定されているとのことだが、社名が変更になるのか。

事業者 残念ながら詳細は未定である。

(防犯情報)

委員 番組は全体的に好感を持てるようになってきた。地域の危機管理の観点から、防災情報も重要だが、警察と連携して防犯情報も取り上げてほしい。県内では振り込め詐欺が問題となっており、関心も高い。

事業者 埼玉県警察と防犯協定を締結したので、具体的な取り組みを検討しているところである。

(イベントの事前告知)

委員 本日、説明を受けてたくさんの番組があることがわかった。きめ細かく素晴らしく、市民でも知らない情報があった。所沢市連合婦人会のメンバーにも素晴らしさを伝えてあげたい。『埼玉徹底応援 オシどきっ!』の番組コンセプトはよいと思う。先日、さいたまスーパーアリーナで地元の名産品のイベントがあったが、集客が難しかったようである。同番組内で宣伝すればもっと多くの人が集まるので、今後は事前告知に協力していただきたい。

(防災速報と取材対象)

委員 防災速報(緊急テロップシステム)の運用が始まったとのことだが、これは市民が一番知りたい情報である。このサービス自体があることを市民の側も知っていなければならない。また、学校でのイベントや子どもたちに関わることを取り上げると、視聴者が必ず増えていくと思う。

(防災速報)

委員 所沢市内には防災無線が 60 基あるが、内容が聞こえづらいことがある。代わりにラジオをつけるが、受信状態がよくないと窓際に置かないと聞こえない。地域情報の役割を果たす意味でも、J:COM の防災速報でこれらを解決していただければと考えている。

事業者 所沢市は集合住宅が多いため、防災無線が反響してしまうようである。別途契約が必要となるが、「緊急地震速報サービス」で防災無線の内容を伝えられるようシステムを考えている。今後、各自治体に提案していけるようになる。このサービスはTVによる防災速報と違ってチャンネルを合わせなくても受信ができるため有効である。

(集合住宅の加入状況)

委員 集合住宅の契約している割合はどのくらいか。

事業者 所沢市内の約 9 割の物件に接続している。データ放送によってL字の画面が視聴できる。新築物件に関してはほぼ全棟に導入できている。

(操作説明)

委員 高齢者は操作がリモコンでの難しいとの声がある。

事業者 フリーコールにお電話いただければ操作説明に伺う。

(番組構成)

委員 日頃は所沢市からの情報発信にご助力いただき感謝している。

地域のイベントに参加した人は、自分が番組に取り上げられれば嬉しいと思う。今後の番組構成の提案としては、従来のようにイベント当日だけを取り上げるのではなく、そこに至るまでの活動紹介をしていくような番組のつくりや、人物を通したドキュメンタリー風にして、イベントを事前にPRしてもよいのではないか。

例)「所沢市民フェスティバルの実行委員長の 1 日」

『イイとこTV』の番組MCの「香川美紀の 1 日〇〇」コーナーはとても面白い。

事業者 『のぼうの城』、『ヘルタースケルター』などを配給した映画会社アスミック・エースは、J:COM の子会社となっており連携を図っている。

閉会

本日は貴重なご意見をいただき感謝したい。できることから J:COM チャンネルの番組制作に反映させていきたい。今後とも所沢局と J:COM チャンネルを応援していただければと思っている。予定時刻となったため、放送番組審議会を閉会する。

以上